# 第36回社友会本部総会 議案書

## •第一号議案 平成26年度事業報告

## 【報告事項】

平成26年1月1日 シャープ 総務部人事 (組織変更によりCSGより総務部に変更される。)

社友会本社窓口人事変更 長谷川副参事から小川副参事に異動がありました。

## 【行事】

平成26年4月21日 第35回(平成26年度)社友会本部総会:於 ホテル アウィーナ大阪

4月21日ホテルアウィナー大阪で会員154名が参加の下、開催されました。 来賓として、大西副社長、深堀執行役員、組合本部より、津田中央執行委員長をお迎えし、 平成25年度の事業報告及び平成26年度の事業計画が審議され承認されました。 その骨子は、以下の通り

- ●魅力化計画
  - 1. タイムリーな会社情報の提供
  - 2. 健康セミナー定期開催 健康長寿のノウハウを提供
  - 3. 「社友会ホームページ」「メール便」で各種情報を提供
  - 4. グリーンクラブ (GC) に参加啓蒙
- ●新入会員増加計画
  - 1. 「ライフプランセミナー 55」 2. 「年金手続き説明会」
  - 3.「65 委員会」再雇用者の定年後の入会促進・・・・これらの取組みを行う。

本部総会会場

- ●シャープ応援計画
  - 1. 「We Love SHARP」キャンペーンの実施
  - 2. 地域社会の各種活動・公的各種イベント等のボランティア活動の参加
- ●会 則 改 訂 点
  - ・社友会員章(襟章)の交付を廃止。
  - ・会員名簿の発行は個人情報保護の観点より廃止する。 (第35回本部総会にて決議済 条文の改訂を行うもの。)
- ●慶 祝 及 び 弔 慰 2015 年 4 月1日より 細則改訂の報告を行う。

(慶 祝) ・古希  $\rightarrow$  2,000 円 ・喜寿  $\rightarrow$  5,000 円 ・米寿  $\rightarrow$  10,000 円

· 白寿 → 30,000 円

(弔 慰) ・会員本人の死亡 → 弔電及び ご香典 10,000 円

・会員配偶者の死亡 → 対応廃止

- 総会後『支部長連絡会』開催し、支部の状況報告と共に下記 支部長に交代の報告がなされた。
  - · 東北支部 坂本氏 · 広島支部 東 氏 · 九州支部 加藤氏

### 平成26年4月20日 東北「桜ライン311」へ昨年に引き続き支援寄贈

東日本大震災支援の為、NPO「桜ライン 311」に対して、昨年に引き続き、今年も社会貢献活動の一環として支援金として258,000円を寄贈しました。

#### 平成26年5月23日 **熊鷹稲荷神社祭礼**

恒例の熊鷹稲荷神社の祭礼が会社幹部、主要取引先の方々参列の下、執り行われました。社友会代表として御手洗会長が参列されました。

#### 平成26年 8月 6日 **高野山 物故社員・社友慰霊法要**

8月6日昨年改修された供養廟にて"物故社員法要"が奥田会長を初めとする会社 役員社友会 真副会長、河辺監査役 ご遺族の方等関係者参列の下、執り行われま した。本年は新合祀49柱(内 社友会新合祀32柱)と三回忌27柱の合祀が行われ ました。(合祀者の累計は1614柱になります。) 平成27年1月19日 **平成27年「新春懇談会」**開催 於:シャープ本社 第一·第二集会室

358名の大変多くの会員の出席の下、平成27年新春懇談会が開催され、会社からは、奥田会長、高橋社長を始め多くの方々が出席されました。

御手洗会長より社友会は、会社の発展の為 協力したいとの挨拶の後、高橋社長からは、現状と今後の取り組みについて説明がなされました。

その後の懇親会には、辻 元社長も参加され、懐かしい仲間と楽しい一時を過ごしました。





平成27年3月4日 $\sim$ 5日 <u>社友会「懇親旅行」実施 あわら温泉・永平寺参拝</u>

恒例の「秋季懇親旅行」61名参加の下実施しました。 「一乗谷・朝倉遺跡」「東尋坊」を巡り、あわら温泉で ゆったり一泊。 翌日「永平寺」で説法を受けた後、参拝 を行いました。 天候もまずまずで、心身のリフレッシュと友好を温める有 意義な二日間となりました。



### 【本部活動】

- 社友会活性化への取組み
  - ① 社友会入会促進への取組み
    - 1 「ライフプランセミナー55」での退職予定者への社友会活動の紹介、入会促進活動。 2014年度 各支部も含め実施。<u>(本部) 3会場 227名対象</u>
    - 2 「年金手続き説明会」での社友会活動の紹介、入会促進活動。 2014年度 4会場 67名対象 (本部)
    - 3「65委員会」の設置

再雇用等で60歳を越え、65歳まで勤務される方が増えつつある。 この点より、社友会入会の機会を逸している方がおられる事から、入会促進の為、「社友会紹介」「活動内容」等の資料を直接送付し、入会への勧誘を図る。 4回 200名を対象に実施。(4名の入会)

② 同好会入会促進の取組み

23同好会の入会促進の為、各同好会別に「オープン同好会」を開催。同好会の魅力を体験してもらい入会促進を図って行く。(2015年度も継続実施予定)

#### ● 社会貢献活動

① 社友会シャープグリーンクラブによる里山保全活動

「神於山シャープの森」フクロウの棲む森を目指して活動・・・・・・・20回 延べ122名参加 「明日香村シャープの森」葛城事業所と協同して里山保全活動を実施。

・・・13回 延べ 61名参加

「アイアイアランドシャープの森」八尾事業所と協同で活動スタート。 「若草山グリーンキャンペーン2014」

5月24日 330名参加、社友会も23名参加。600株のススキの植栽を実施。

- ② 社友会仲間と楽しくボランティア活動
  - 1 「育徳園ボランティア活動」

活動を開始し2年半を経過、育徳園からも喜ばれ、社友会の仲間もやりがいを感じているとの声が多い。

今年度から、従来の活動に加え、詩吟、落語も加え、更には、子供を対象とした「環境教育」も実施。
・・・・・26回 延べ90名参加

2 「奈良マラソン」「大阪国際女子マラソン」「大阪企業家ミュージアム」「カレンダーチャリバザー」などのボランティア活動に参加。

### ③ 社友会社会貢献活動委員会 (毎月1回開催)

シャープ(株) CSR推進部社会貢献活動推進Grとの情報交換会も隔月開催。 9回 延べ 58名参加

④ 社会貢献活動委員会の「ホームページ」 最新情報に毎週更新。

### ● H/P(ホームページ)並びにメール便による情報の提供

- ① <u>社友会ホームページ</u>平成26年度 更新回数 48回
- ② メール便による情報の提供

会員との情報交流の強化を目的にメール便をスタート。 メール会員数 (メール登録者)

1971名 (登録率 63.4%) 平成26年度 発信回数 18回



H/P トップページ

## 【会議】

平成26年4月21日 第9回「支部長連絡会議」開催

第35回「本部総会」終了後、東北・栃木・東京・中部・広島・九州6支部の支部長並びに本社CSG及び本部関係者出席の下、第9回「支部長連絡会議」が開催され、各支部並びに本部の状況の意見交換を踏まえ、慶弔費の見直しの確認社友会の拡大発展の為の方策について検討しました。

### 定例役員会議(8月を除く11回開催)

年賀会や旅行などの行事企画と運営、新規加入促進策、 同好会支援、 会報「ゆう」の 紙面作りなど社友会を通じて会員が楽しく、充実した生活となるような施策の検討と推進。

## 【 施 策 】

### 社友会会報「ゆう」の発行

別表の内容で101号(平成26年4月) 102号(平成26年7月) 103号(平成26年10月) 104号(平成27年1月) の4回の発行を行いました。

会員全員参加の会報つくりを心がけアンケートによる会員の生活実態、会員の活躍紹介、健康シリーズなどを掲載しました。 ☆ 編集委員会 9回実施

号数	発行	構成	主な掲載記事
101	26/4月	8頁	2014年「社友会新年懇談会」
			ミニアンケート 日頃の健康管理について
102	26/7月	8頁	第35回本部総会 及び 第9回支部長会議
			第1回健康セミナー
103	26/10月	8頁	高野山供養廟追悼法要
			プライベートサークル紹介
104	27/1月	8頁	新年のご挨拶 アンケート今年の抱負
			第2回健康セミナー



#### 同好会活動

### 「同好会活動 実績と計画」別紙参照 (P15)

同好会数 · · · · · 2 3 同好会

同好会会員数・・・・・ 776名(全同好会合計・延べ人数)※女性会員 74名

同好会開催数・・・・・ 360回 (全同好会合計・延べ回数)同好会参加者数・・・・5,720名 (全同好会合計・延べ人数)

# •第二号議案 平成27年度事業報告

## 【 社友会活動の概念 】

生きがい

● 会員支援のサービス活動 ● 同好会活動 ● 社会貢献活動

<u>・・・・</u>の3本の柱で運営する。

## 会員支援·連携 本部活動

健 康

社友会の運営と会社との連携 会員への情報提供・慶弔対応 会報「ゆう」発行・HP運営 年賀会・総会等行事運営・・・・など <u>親交関係の</u> 拡がり

> <u>シャープの</u> イメージアップ

健康・楽しさ・教養 同好会活動

> 23同好会による活動 活動内容等別紙参照

半きずな 社会との絆・優しい心 社会貢献活動

> シャープの森支援活動 各種ボランティア活動 募金活動・・・・など

## 【 事業計画の基本的な考え方 】

全員参加・手作りで **『いきいき・わくわくする社友会』への変身** 



## 初年度は、以下の重点テーマを絞り推進する

- 重点テーマ
  - ① 「総合文化祭」の開催(9月9日~11日)
  - ② 「会員拡大」の仕組みづくり
    - ・・・・・・・・・を最重点テーマとし、焦点を絞り推進する。
- これらを起爆剤とし、
  - ① 「同好会拡大」へ
  - ② 「健康セミナー」「ミニカルチャー教室」推進
  - ③ 「懇親旅行」のリフレッシュ
  - ④ 「社会貢献活動」の取り組み
  - ⑤ 「情報発信」
    - ・・・・・等の各テーマの活性化へ結びつける事を意図する。
- この為、限られた経費予算の重点テーマへの集中 並びに全員参加への意識づけに傾注する。

## 重点施策 1 【 総合文化祭の開催 】

同好会会員のみならず同好会に未入会の方々も参加頂き、手作りで全員参加のお祭りを実施する。 5年前行った「30周年記念展示会」を踏まえ、本年は、発足35周年に当たる事から

「35周年記念総合文化祭」と位置づけ取組みを行う。

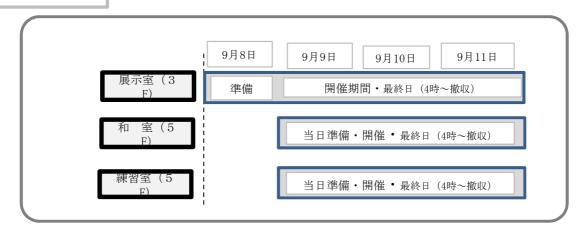
### 総合文化祭開催(概要)

開催期間 会場内容 八尾市文化会館プリズムホール TEL 0729-245-1114 2015年9月9日~9月11日(※3日間) ※9月8日 準備 ※9月8日 準備日 (搬入及び展示)

各同好会並びに一般応募作品展示 実演・実技実施・バザー会場 バンド演奏・マジック等 展示室 (3F) 和\_室 (5F)

練習室(5F)

### 開催スケジュール



### 同好会実施内容(案)

- 1 作品展示
  - ・各同好会会員が作った「作品」を展示。
  - ・合わせて「同好会の活動内容」「同好会の楽しさ」を展示。
  - ・同好会以外の「一般会員」の作品を募集し、展示を行う。
- 2 活動内容の展示
  - 「同好会の活動内容」「同好会の楽しさ」を紹介。
  - より理解を深める為、実演等で魅力度をアピールすることの検討。
- 実践競技の実施 3
  - 将棋・囲碁など一般会員との対戦の実施。
  - パターゴルフ(ゴルフ同好会) ゲーム遊び(パソコン同好会)

・・・・・等でお祭りの楽しさを演出。

- 「ミニ教室」 4
  - 書道・絵手紙・パソコン・・・・・等の同好会で、「ミニ教室」の実施。 ※ 2時間程度の時間で、同好会別にスケジュールを設定し実施。
- 実演 5
  - カラオケ・詩吟等の実施。 (飛び入り参加の募集も考えられる。)
  - 音響設備を備えている事から、「演奏バンド」等一般募集の実施。 その他、「落語」「マジック」も実施。
- バザーの実施
  - 各同好会より、手作りの作品をバザー品として提供頂き、会場で バザー販売を行う。
  - これらを継続実施の「さくらライン募金」と合わせて「東日本大震災」 の寄金とすることの検討。

## 重点施策 2 【 会員拡大の仕組み作り 】

### 社友会の現状と課題

- 現 状
  - ① 社友会入会者数の減少 ② 社友会退会者の増加 ③ これに伴う財源不足
- 課 題

厚生年金支給時期の後ろ倒しの状況から、再雇用・再就職をせざるを得ない状況にある。 現状、60歳定年・社友会への入会を前提とした仕組となっている。 この事から、実質的な定年時期は65歳頃になるが、この時期でのフォロー策ができてい ない。 社会的環境変化に対応した仕組み作りが急務と言える。

## これらに対応した仕組み作り



- ① 再雇用・再就職者を配慮し入会基準(会則)の見直し。
  - ※ 第3号議案・・・・会則改訂(案) 参照
- ② 再雇用者に対する会社からの退職情報の提供とフォローの協力強化。
- ③ 再就職者に対しての積極的入会促進。

(約半年間 会報「ゆう」社内誌「WIND」等情報の提供)

- ④ 直近入会者による「入会勧誘サポーター」の設置
  - 一年~二年前の退職者の中から事業所別にメンバー選定し、

「入会勧誘サポーター」として以降の退職者に入会の促進を図ってゆく。

### 継続しての「入会促進対応」

現在まで実施の、下記対応を継続し実施をして行く。

- 1「ライフプランセミナー55」での退職予定者への社友会活動の紹介、入会促進活動。
- 2 「年金手続き説明会」での社友会活動の紹介、入会促進活動。
- 3「65委員会」で再雇用者の定年後の入会促進。

### 【 本部活動 】

「 **人 事** 」 ・中西幹事が3月23日ご逝去されました。

- 「行事」
- · 熊鷹稲荷神社例祭 5月8日 実施予定(代表参加)御手洗会長
- · 高野山物故者慰霊法要 8月4日 実施予定
- 新春懇談会(年賀会) 平成28年1月実施予定
- 社友会懇親旅行 ミニ旅行を検討
- 「会議」
- 第36回社友会本部総会 平成27年4月20日(月)
- ・ 定例役員会議 (8月除く毎月実施)

主な検討テーマ

社友会活性化策の検討(総合文化祭の推進・会員拡大への仕組作り) 会員への情報提供内容の充実(会報「ゆう」・メール便・・・等)

手作り感のある行事の企画と運営(健康セミナー・カルチャー教室等)

- 社会貢献活動委員会
- (毎月実施)
- 65委員会 (適宜開催)
- ・ H/P委員会・名簿プロジェクト (適宜開催)
- ・ 第10回支部長連絡会議 (原則年1回)・・・・4月20日(本部総会後開催) 主な検討テーマ ・情報交換 ・共通テーマの検討
- 「施策①」・ 社友会会報「ゆう」発行 年4回

会員の各方面での活躍を積極的に取材して情報の提供。

・・・行事・イベントに合わせタイムリーに4回発行の予定。

- 社内誌「WIND」の提供
- 社友会ホームページ (月2回更新)
- ・ シャープカレンダーの有償斡旋
- ・ メール便の送信による情報提供(月2回提供予定)

## 【本部活動】

「施策②」 ① 共に作る「特化したイベント」の実施

会員の要望とアンケートで、手づくりの「特化したイベント」を企画。

1 年齢から逃げて通れない特化したテーマの実施

『健康セミナー』定期開催

(4月20日 第三回実施 「脳疾患・心疾患・がんの早期発見と予防」)

2 話題の気になるテーマに特化

『ミニカルチャー教室』 定期開催

(6月2日「スマホ教室実施」予定)

3 特化した旅行・見学会の実施(検討)

世界遺産・民俗芸能・古典芸能(文楽・歌舞伎)・銘酒ツアー等手作りで「一味加えたプラン」で楽しさの提供。

4 遊びと実益を入れた特化した「社会貢献活動」(検討)

手軽な作業で、里山づくりを身近で興味を持って頂く事を意図。

- ・ブルーベリー育成と収穫・・・・等
- 5 <u>社友会「入会特典」の特化と充実</u> シャープファイナンスを中心とした「社友会会員特典」の見直し・整理に 加え、新たな特典開発をすると共に、これらの特典啓蒙と加入促進を図って 行く。
- ② We Love SHARP運動の推進

会員に対し、お値打ち商品を紹介しシャープ商品の購入促進を図る。

- ③ **郵便局のATMから、「郵便局口座」開設・振込の実施啓蒙** 各種費用振込については、ATM活用により、経費削減がなされたが、これを 更に進め「郵便口座開設」これを使っての振込により、更なる経費削減を 行う取組みを実施。
- ④ 「2020年東京オリンピック観戦貯金」の働きかけ 各自で行っている「観戦貯金」を元に魅力ある「東京オリンピック観戦 ツアー」の企画検討を行う。

## 【 社会貢献活動 】 「社会貢献活動委員会」

- 会 議
- · 社会貢献活動委員会開催 (毎月開催)
- ・シャープ(株) CSR推進部との情報交換会の実施。(隔月開催)
- 活動
- 1) 社友会シャープグリーンクラブによる里山保全活動
  - ・「神於山シャープの森」「明日香村シャープの森」の活動を継続 すると共に、今年度は、八尾事業所と協同で「アイアイランドシャ ープの森」を本格スタートを図る。
  - ・「若草山グリーンキャンペーン2015」

6月7日(日)開催。社友会100名を参加目標としススキの植栽を行う。

2)ボランティア活動

育徳園での福祉ボランティア活動の他、奈良マラソン・大阪国際女子マラソン、大阪企業ミュウジアムでの説明員等の活動を継続して行う。

●「東日本大震災」への継続支援

陸前高田 NPOさくらライン311への寄付活動継続して実施。(160.000円)

● 施 策 <u>あなたの趣味と楽しみを活かした「ちょっとボランティア</u>

・ 手軽な作業でブルーベリーの収穫 (8月 明日香村で実施予定)

## 【 同好会活動 】

「同好会活動 実績と計画」別紙参照 (P15)

同好会数 · · · · · 23同好会

同好会開催数・・・・・・ 441回 (全同好会合計・延べ回数)

同好会参加者数・・・・6,212名 (全同好会合計・延べ人数)

各同好会延べ会員数・・・・1,000名へ(平成26年 789名)

同好会「オープン定例会」による会員拡大への取組み。

#### • 第三号議案 会則改訂(審議)

### 会則 第3条3項の改訂

改訂の理由 (P7 重点施策 2 【会員拡大の仕組み作り】参照)

実質的な定年時期が65歳頃になっている状況の中、この時期での入会へのフォロー ができていない状況にある。

このような社会的環境変化に対応した対応を図り、社友会入会者の拡大と共に、 社友会活性化を図る為の改訂。

### 改訂条文 (案)

### ● 現 行

定年退職直後、会社に再雇用されたものは、再雇用終了の後、所定の手続きにより、会員に なることができる。

(以下略)



### 改 訂(案)

定年退職直後、会社に再雇用或いは再就職したものは、<u>本人の希望により、雇用期間中においても</u>所定の手続きにより、会員になることができる。 (以下 略)

### 実施時期 (案)

2015年4月1日より、改訂。

注1) 第四号議案(平成26年度会計報告)、第5号議案(平成27年度事業予算(案)は割愛しました。

注2) 第一号議案から第五号議案はホームページ掲載の通り議案書通り承認されました。